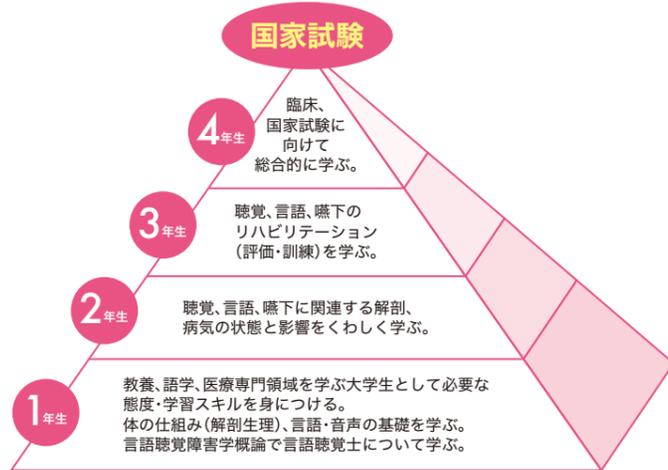


KUAS 言語聴覚学科の特色

- 1 少人数の講義・演習で専門分野の内容について十分な理解と実践力を育成します。
- 2 担任・副担任によるホームルームなど、学修や学生生活のサポート体制を整備しています。
- 3 臨床実習に向けた手厚い指導を実施、国家試験対策も充実しています。
- 4 医療従事者に求められるマナーをはじめコミュニケーション能力の向上を図ります。

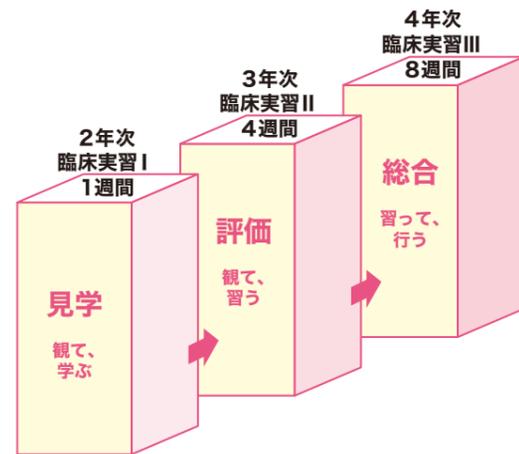


●教養から専門科目への段階的な学習



●臨床実習のステップ

観察・記録、評価、治療プログラムの作成を段階的に学びます。



第3期生	言語聴覚士 国家試験 合格率 90% (全国平均69.4%)
	就職率 100%
就職先 信州大学医学部附属病院 地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院 独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター 京都大原記念病院グループ 京都大原記念病院 社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 社会医療法人誠光会 草津総合病院 公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院 医療法人財団康生会 武田病院 一般財団法人仁風会 嵯峨野病院 など	

言語聴覚士になって笑顔にしたい!

幼少期から「人を助け、笑顔になってもらえる職業に就きたい」と考えていました。言語聴覚学科を目指したのは、高校3年生の頃にお世話になったリハビリの先生から「言語聴覚士」という仕事を教えてもらったのがきっかけでした。大学では、人の体について学ぶ解剖学や、音の仕組みを学ぶ音響学など、言語聴覚士を目指す仲間と共に専門的な勉強をしています。将来は医療機関で成人の患者様に効果的なリハビリテーションや関わり方を考えることができるユーモアあふれる言語聴覚士になりたいです。

健康医療学部 言語聴覚学科

河原林 大和さん 京都府立亀岡高等学校出身



KUAS

KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE

京都先端科学大学

健康医療学部

言語聴覚学科

京都太秦
キャンパス

はなす きく たべる のスペシャリストへ!

柔軟な対応力が求められる仕事です。

問題に取り組む医療の専門家。

ことば・聞こえ・飲み込みの

言語聴覚士

めざせ!

あなたの一歩を見つめています。

さまざまな医療機関が、

社会的ニーズの高い言語聴覚士。

言語聴覚士は
こんな人におすすめ!



人々の役に立つ
仕事がしたい

人と関わる
仕事がしたい

医療にも
心理学にも
興味がある

ずっと働ける
仕事がしたい

医療の現場で
働きたい

資格が
ほしい

リハビリ
テーションの
仕事がしたい

子育ても
したい

学生の街、
京都で学びたい

言語聴覚士って どんな仕事？

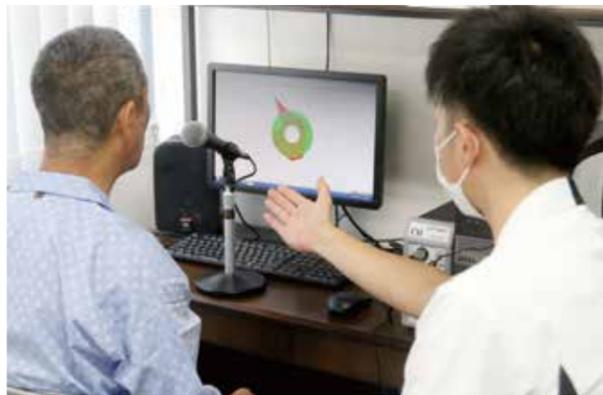
言語聴覚士は言語、発声発語や嚥下などの問題に対応する医療の専門家です。

しかし、実際に言語聴覚士がどのような仕事に取り組んでいるのか、具体的にイメージできる人は少ないでしょう。ここでは、言語聴覚士の日常の風景をいくつかピックアップします。

病院や
リハビリテーション
施設、老人保健施設
などで、ことば・聞こえ・
飲み込みの問題に
対応する医療の
専門家です。

発声発語・嚥下障害

うまく話せない、飲み込めない、
声とのどの問題に取り組みます。



●音響分析
患者様の声や発音の時間周波数を分析。音声の問題を客観的に評価します。



●ベッドサイド評価
3ml程度の水を注射器で患者様の口に入れ、むせたりしないか、飲み込みの状態を調べます。

言語発達障害

ことばや発達の遅れをもつ子どもたちを
支援します。



●子どもの
言語検査
絵や型はめなどを使い、遊び感覚で取り組める内容の課題を行います。

医師との連携

医師が行う検査に立ち会い、
協働して問題発見・解決に取り組めます。

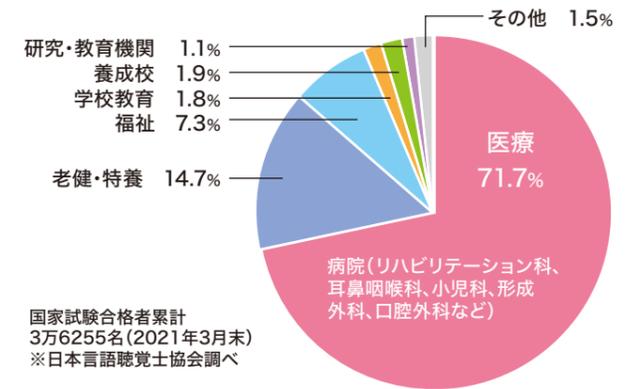


●内視鏡検査
耳鼻咽喉科の医師が行う内視鏡検査。言語聴覚士も立ち会い、声帯の状態とその運動を確認します。本学科では医師教員による内視鏡検査の実習が可能です。

言語聴覚士は 国家資格です。

1997年に国家資格となった言語聴覚士。国家試験に合格し、厚生労働大臣から免許を受けた有資格者数は、2018年3月には31,000人を超え、2021年3月には約36,000人となりました。専門知識はもちろんのこと、患者様とその家族に寄り添い信頼関係を築くことのできる豊かな人間性が求められる仕事です。

●言語聴覚士の所属機関



聴覚障害

音が認識されているか、
聞こえの障害に対応します。



●聴力検査
聞こえないのか、聞こえているけど話せないのか、聴力検査は基本的にすべての患者様で実施します。



●子どもの聴力検査
ヘッドホンから音が聞こえたらボタンを押す、すると机の天板の下にある汽車が動く、といった子ども用の検査機器を使用します。本学科の聴力検査室にも精密な機器が備えてあります。

高次脳機能障害

脳卒中による失語症や認知症などの
問題に対応します。



●個人訓練
失語症や認知症など高次脳機能障害の患者様を対象に、ことばや記憶を引き出すためのリハビリテーションに取り組めます。

現場で活躍する卒業生

脳梗塞、肺炎、神経疾患、頸椎疾患術後の方に、嚥下評価、言語・高次脳機能評価や訓練をしています。急性期病院なので、発症後意識障害が遷延している患者様が徐々に改善し、日に日に元気な顔を見せるという変化を見たときに言語聴覚士としてやりがいを感じます。今後は、全身状態・リスク管理に注意しながら、患者様の障害を特定し、回復期病院へつなげられる言語聴覚士になりたいです。

言語聴覚士を目指す方へ

言語聴覚士の資格を生かせる現場は様々で、自分にあった働き方を見つけることができます。実習や国家試験など大変なことはありますが、とてもやりがいのある仕事です。

京都市立病院 リハビリテーション科
村上 瑞季さん

